

	評価項目	評価結果				平均	標準偏差	0%	20%	40%	60%	80%	100%
		A	B	C	D								
信頼される教育の確立	1 学校の組織力と学校運営	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
	2 安全管理危機管理	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
	3 学校公開情報発信	6	1	0	0	6.7	95.9	86				14	
	4 カリキュラムマネジメント	3	4	0	0	5.9	83.7	43				57	
	5 共にある教育の実現	1	5	1	0	5.0	71.4	14	71				14
	6 教員の人材育成研修の充実	2	4	1	0	5.3	75.5	29	57				14
	7 働き方改革の徹底	4	3	0	0	6.1	87.8	57					43
	8 ワンチームでビジョンを共有	4	3	0	0	6.1	87.8	57					43
学力の確かな定着	9 学習習慣・学習規律の定着	3	4	0	0	5.9	83.7	43				57	
	10 基礎・基本的な学力の定着	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
	11 新たな価値を創造する力	3	4	0	0	5.9	83.7	43				57	
	12 外部人材ICT活用	1	4	2	0	4.7	67.3	14	57				29
	13 ユニバーサル・デザイン	3	4	0	0	5.9	83.7	43				57	
心の豊かな醸成	14 自己有用感の醸成	4	3	0	0	6.1	87.8	57					43
	15 認知機能・社会性の向上	2	5	0	0	5.6	79.6	29	71				
	16 内面に根ざした道徳性の涵養	3	4	0	0	5.9	83.7	43				57	
	17 心の居場所づくり	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
体健やかな育成品	18 新しい生活様式の定着	2	5	0	0	5.6	79.6	29	71				
	19 体力・運動能力の向上	1	4	2	0	4.7	67.3	14	57				29
	20 ストレスに対処できる力	3	2	2	0	5.3	75.5	43	29	29			
	21 健康管理保健衛生	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
向かって輝く未来に	22 言語力の向上	4	3	0	0	6.1	87.8	57					43
	23 情報活用力の向上	5	2	0	0	6.4	91.8	71					29
	24 国際社会で活躍できる人材	2	4	1	0	5.3	75.5	29	57				14
	25 特別支援教育の推進	4	3	0	0	6.1	87.8	57					43

(人) 7名

(%)



評価委員	コメント(抜粋)
A	いろいろな行事や学校訪問を通して、先生方が一つになって、まとまっていると感じます。良い方向に進んでいると思います。
A	不審者対応訓練や心肺蘇生訓練など、子供たちの安全確保のために、様々な手を尽くしていると思います。
A	学校便りやホームページなど、多少難しいことも書かれておりますが、学校の方針がよく分かり、頼もしく思います。
B	総合的な学習の時間だけでなく、道徳や社会科や理科など、いろいろな学習がしっかりと結び付いているような気がします。
B	大きな行事のたびにアンケートをしたり、学校評価アンケートなど、保護者の方に実施していることを地域にも広げたらよい。
B	先生方が常に学んでいる御様子で、とても良いことだと思います。学び続ける姿を子供たちも感じています。
A	夕方になると電話もつながらず、不安になることもありますが、これが本来の姿なのかなと考えたりもします。
A	来年度から学年担任制になるということで、さくら学級も含めて、ますます一つになるのだろうと思います。
B	スマホの見過ぎで寝る時間が遅くなるなど、生活習慣の乱れが、家庭学習の定着を阻害しているのではないのでしょうか。
A	子供たちの学力の差が大きくて、これからも「誰一人取り残さない、個に応じた指導」を一層重視してください。
B	子供主体の授業が多く、児童が主体的に授業に参加していて、授業風景が昔とは大きく変わったと感じます。
C	教科の講師の先生や、外部人材を積極的に活用していて、いろいろな先生と交流できる機会が多くて良いと思います。
B	個人差が大きいので、ユニバーサル・デザインとともに、一人一人に応じたきめ細やかな支援を今後お願いします。
A	毎日、子供たちの笑顔があふれていて、穏やかで、楽しい学校生活を送っていると思います。
B	いろいろなコグトレの積み重ねや学校行事を通して、友だちを思いやる心が深まり、心の交流が充実しています。
B	子供たちの心が安定していて、大きないじめも発生せず、子供たちの安全・安心が守られていると感じます。
A	副担任制で、給食の時間にすべての先生が関わるようになり、子供たちをより多くの目で見守る時間が増えて良いと思います。
B	御家庭でのスマホ利用やゲームの時間が極端に長くなっていて、生活習慣に大きな支障が生じているのではないのでしょうか。
C	休み時間の遊び方の工夫など、すべての子供たちが運動に親しめるような方策が必要だと思います。
B	今年から「ふじみスマイル」ができて、心が不安定な子供たちの居場所がまた一つ増え、とても良いことだと思います。
A	給食の時間に、担任の先生と副担任の先生も、子供たちと一緒に班で食べているクラスもあり、いいと思います。
A	学校生活の様々な場面で読書をしていたり、本を活用したりしています。話合い活動が増えていると思います。
A	MESHのプログラミングを活用して、子供たちのものすごく興味を持っていて、意欲的に取り組んでいる姿を見ました。
B	読書感想文、調べる学習コンクールなど、全国大会レベルで認められ、秀でている子供たちの成果が出てすごいと思います。
A	きこえとことばの教室、さくら学級、大空教室との連携がより一層深まれば、本当の意味の垣根のない学校になると思います。